

2024年9月5日

たてくるジオパーク だより 第72号



発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階

TEL: 076-431-2089

FAX: 076-482-3204

MAIL: info@tatekuro.jp

HP: <https://tatekuro.jp/>



<https://facebook.com/tatekuro>

★ 第14回日本ジオパーク全国大会 下北大会が開催されました。

8月30日から9月1日までの3日間、第14回日本ジオパーク全国大会が本州最北端の下北ジオパークの青森県むつ市で開催されました。台風10号の影響で一部参加できなかった地域もありましたが、立山黒部ジオパークからは、8名が元気に参加しました。30日の開会セレモニーでは、主催者であるむつ市長・山本知也実行委員長、日本ジオパークネットワーク古川隆三郎理事長、日本ジオパーク委員会中田節也委員長の挨拶などがありました。次に、「私たちの海」のテーマのもと、研究者や地元の方々によるシンポジウムが行われました。

31日は、口頭発表を行いました。立山黒部ジオパークからは、森内専門員が『「高低差4000m」及び新ジオサイトの教育的活用』の発表タイトルで立山黒部ジオパークの特徴を生かした教育活動や新ジオサイトについて発表しました。また、ポスター発表のコーナーでは、黒部市吉田科学館の野寺学芸員が、「岩石標本作成ワークショップの開発～GISで簡略化させた地質図を用いた事例～」のタイトルでポスター発表を行いました。コアタイムには大勢の参観者が訪れました。

最終日の9月1日は、14会場に別れて分科会を行いました。9:00～12:00の3時間をかけて、いくつかのジオパークによる事例紹介と5～6人のグループに分かれてワークショップを行いました。立山黒部ジオパークからは、テーマ「現地に行きたくなる展示表現とは？」の分科会で、地球時間の旅展プロジェクトチームを代表して黒部市吉田科学館の野寺学芸員が事例紹介を行いました。どの分科会でも他のジオパークの実践に触れ、活発な意見交換を行いました。大会最後の閉会式の前に「令和6年能登半島地震の記憶継承に関する共同声明」を行いました。

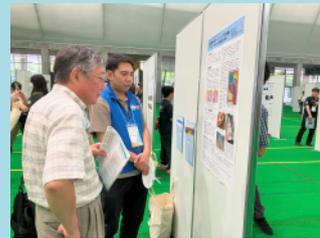
『令和6年1月1日に発生した能登半島地震は、能登地方において地震および津波により甚大な被害をもたらしました。また、その影響は北陸地方一帯の周辺地域にも広く及び、各地で被害も発生しました。被災された地域の皆様にお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになった方々に、心よりご冥福をお祈りいたします。甚大な被害が発生した地域では、復興への道りはまだ遠く、未来に向けた歩みが一歩ずつ前に進むことを願ってやみません。

さて、今日までジオパーク活動を進めてきた私たちにとって、今回の地震は地球の動きと人々の暮らしの関わりについて改めて強く意識した瞬間でもありました。ユネスコ世界ジオパークである糸魚川地域、白山手取川地域、日本ジオパークである佐渡地域、苗場山麓地域、立山黒部地域、ふくい勝山地域は、能登半島地震で得た多くの教訓を風化させることなく、さらなる防災意識の向上や災害に関する知識の定着に活かすことが大きな使命であると感じています。そして、国内外のジオパークネットワークを活かし、防災・減災活動の普及啓発につなげていきます。また、ジオパーク地域のみならず能登地域に関しても、大地の営みと人々の暮らしの普遍的な関係性とその価値について、大地の営みに直面した被災地域の人々が学ぶことへの支援を行なっていきます。

2024年9月1日

糸魚川ジオパーク協議会 白山手取川ジオパーク推進協議会 佐渡ジオパーク推進協議会 苗場山麓ジオパーク振興協議会 一般社団法人立山黒部ジオパーク協会 恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会』

以上の声明を採択した後、閉会式を行って、下北大会を閉幕しました。



身近な気候変動の緩和・適応の取り組みを実践しましょう!

猛暑の夏からきびしい残暑の秋に入ってきました。気候変動の緩和・適応の取り組みは、地球温暖化を抑制して持続可能な社会構築のために大切な活動です。この取り組みは、「誰かが」ではなく、「みんな」が日々の生活において、少しずつ実践する必要があります。

立山黒部ジオパーク協会は、この活動の推進者でありたいと考えております。



パンフレット「身の回りの気候変動を考えよう!」(富山県気候変動適応センター)

<https://www.pref.toyama.jp/documents/25871/cca-pamphlet-2021toyama.pdf>



★ ジオパーク巡回展「地球時間の旅」が開催 7/20～9/1

ジオパーク巡回展「地球時間の旅」を黒部市吉田科学館と立山黒部ジオパーク協会の主催で、黒部市吉田科学館展示室で開催しました。この巡回展は、文化庁採択事業「ジオパークネットワークを活用した展示と地域を結ぶ博物館機能」として、地球の時間という長い長い時間を全国のジオパークの貴重な内容を盛り込んで作成されました。立山黒部ジオパークからは、富山市科学博物館から出品のパンダ石(世界最新の花崗である「黒部川花崗岩」)も展示しました。

また、黒部市吉田科学館オリジナル展示として「黒部市吉田科学館の取り組み」を紹介するパネルも展示しました。開催期間は、学校の夏休み中だったので、多くの来場者があり、ジオパークへの理解を深めていただくことができました。



■ 8月の活動より

8/24 ジオパーク散歩 in 千寿ヶ原



ジオパーク散歩 in 千寿ヶ原を8月24日(土)に開催しました。立山駅ロータリー中央にある第十三番石仏の前から解説がスタートしました。この石仏は岩嶽寺から雄山神社(室堂平)までの間に祀られた西国三十三所観音の分霊像の13番目にあたり、幾度かの移転を経て、現在の位置に移設されました。今でも登山者の安全を守っています。立山駅前の散策を終えると、称名川に架かる藤橋と常願寺川に架かる真川大橋に向かい、それぞれの橋から河川敷を眺めながらガイドの解説を聞きました。最後に千寿ヶ原第2公園でトロッコを見学しました。参加した子供たちは、展示されているトロッコに乗り込み、運転手気分を味わっていました。



■ 9月のジオパーク散歩

*参加費 300円

- 第13回 [ジオパーク散歩 in 船峯台地(富山市寺家)]
 〈猿倉山の麓に位置する神秘的に満ちた伝説の里を巡ります〉
 【日時】9月27日(金) 10:00～12:00 (集合 9:45)
 【集合場所】寺家公園(正面案内板)前
 【見学場所】寺家公園公園、寺家のアカガシ叢林(富山県指定天然記念物)、姉倉比売神社、帝龍寺
 【持ち物】雨具、飲物等
 【対象】どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
 【申込期限】9月20日(金) 定員10名先着順



- 第14回 [ジオパーク散歩 in 黒部川扇状地 扇頂散策]
 〈愛本橋周辺でジオを感じる〉
 【日時】9月29日(日) 10:00～11:30 (集合 9:45)
 【集合場所】黒部市宇奈月市民サービスセンター前
 【見学場所】愛本橋、黒部川神社、黒東合口用水、沈砂池
 【持ち物】雨具、飲物等
 【対象】どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
 【申込期限】9月24日(火) 定員10名先着順

募集中!



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



7/25「滑川市ふるさと・ジオパーク現地研修会」

滑川市教育センターでは、副読本「なめりかわのジオパーク」を作成しております。また、毎年、初めて滑川市に赴任した教員の方を対象にした「滑川市ふるさと・ジオパーク現地研修会」を開催しております。副読本「なめりかわのジオパーク」の作成に立山黒部ジオパーク協会が携わっていたこともあり、今年も「滑川市ふるさと・ジオパーク現地研修会」に講師としてお招きいただきました。話の内容は、ジオパークとはどんなものかや立山黒部ジオパークの特徴の説明副読本「なめりかわのジオパーク」の活用方法の提案です。滑川市立博物館の館長や魚津埋没林博物館の学芸員からの講話もありました。座学の後は、立山黒部ジオパークの文化サイトで洪水から人々や町や村を守った五厘堤や自然サイトの急流河川早月川の河口等を実際に見て回り現地研修を行いました。



8/3 富山県立大学ダヴィンチ祭にブース出展しました！

8月3日（土）富山県立大学でダヴィンチ祭が開催され、立山黒部ジオパーク協会としてブース出展しました。内容は、「立山黒部ジオパーククイズ」と「石釣り大会」です。

クイズは3問で全問正解するとジオパーク特製缶バッジとフィールドカードがもらえます。また、石釣り大会では、30秒以内に石を5個以上釣ると同じくジオパーク特製缶バッジとフィールドカードがもらえます。小学生と保護者の家族連れのお客様がたくさん来場されていて、当協会のブースは大盛況でした。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



8/20 関東学院中学高等学校地学部夏の合宿

8月20日（火）に関東学院中学高等学校地学部の夏の合宿が黒部市で行われました。黒部川扇状地の地質や地形・岩石について学習したいということで協会にガイド派遣の要請があり、志村ガイドが当日の案内人を務めました。一行は、宿泊先のホテルアクア黒部からジャンボタクシーに乗り込み、黒部川流域の露頭や岩石等を見学しながら、宇奈月温泉街を目指しました。途中、河川敷に降りて落ちている石を探し始めると、汗だくになりながらも無心で石を観察するあたりは、さすが地学部だと感心しました。最後にうなジオで昼食を食べながら振り返りを行い、参加者からは「河川敷に落ちている石がすごくきれいだった」、「天気良く扇状地展望から能登半島が見えて感動した」などの声を聞くことができました。



イベント等のお知らせ

富山市科学博物館



第45回 SSP展

「自然を楽しむ科学の眼 2024-2025」

生き物や天体、瞬間写真など、ミクロからマクロまでの世界を撮影した自然科学写真を展示します。

とき 9月11日(水)～10月9日(水)

場所 2階特別展示室

対象 入館者

その他 観覧料のみ必要(高校生以下無料)

魚津水族館



色変わりカエル WANTED!

2024年6月1日(土)～9月30日(月)

今年も黄、白、青など変わった体色のカエルやオタマを大募集!

色変わりカエルを持ってきていただいた方にはうすいオリジナル

缶バッジをプレゼント!

これまでに持ち込まれた色変わりカエルも展示

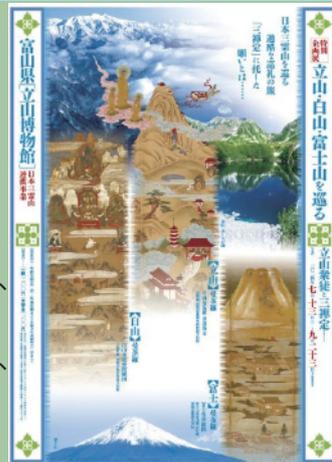
富山県立山博物館

特別企画展「立山・白山・富士山を巡る」

令和5年1月22日、富山県・石川県・静岡県は、「日本三霊山」を活用した地域振興の連携・協力協定を締結しました。その事業の一環として、この夏、立山・白山・富士山に注目します。

江戸時代、この三山を巡る旅を「三禅定」と呼び、に行っていました。現在も、旅の日記(道中記)や三禅定の習俗を示す石碑・供養塔(三禅定碑)が愛知県の知多市や常滑市、大府市、東浦町、武豊町などに多く遺っています。

本企画展では、「三禅定」を行った人々の日記や建てた石碑を手掛かりに、三山を巡る旅の歴史やその意味、三山への信仰などを立山衆徒との関りから紹介します。



たてくる見どころ紹介コーナー

下山芸術の森 発電所美術館 (黒部川扇状地エリア)

一 黒部川扇状地の展望地一

河岸段丘を利用した水力発電所

東に北アルプスを見、西から北に黒部川扇状地、さらに北に日本海があり、その田園風景の中に、下山(にぎやま)芸術の森があります。その施設の中心にあるのが、大正15年に建設されたレンガ造りの黒部川第二発電所です。取り壊される予定だった水力発電所を北陸電力から譲り受け、美術館として生まれ変わりました。この発電所は黒部川の豊富な水量を利用した農業用水と高低差23mの河岸段丘を使った珍しい小型水力発電所です。館内にはタービンや導水管が当時そのままの形で残されています。館入口横の長い階段で河岸段丘崖を登ると、扇状地に広がる散居村と北アルプスを一望できる展望塔があります。自然と調和し、長い歳月を経た歴史建造物として、1996年に国の登録有形文化財に登録されました。

発電所美術館は、立山黒部ジオパーク協会の文化サイトに登録されています。



<https://tatekuro.jp/enjoy/pointDetail.php?id=74>



サイトの保護・保全のお願い!

私たちの大切な宝物であるジオ・自然・文化サイトを壊したり汚したりされませんよう保護・保全にご協力をお願いします。また、サイトが破損や汚染しているのを見かけられたら、当協会までお知らせください。

立山黒部ジオパーク協会

TEL 076-431-2089

E-mail info@tatekuro.jp

<編集後記>

暑い暑い夏が終わり、台風一過の爽やかな晴天が秋の訪れを感じさせてくれるこの頃となりました。協会事務局では、9月中旬に迫った日本ジオパーク再認定審査の提出書類作成に全力をあげて取り組んでおります。会員の皆様、支援自治体会議の皆様の立山黒部ジオパークに対する日々のご支援にお応えできるよう、頑張っております!

立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援してくださる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。ジオパークの活動に興味のある方は、立山黒部ジオパーク協会(076-431-2089)までお問い合わせください。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

